



フランス式 フラワーアレンジメント

2025/12/20

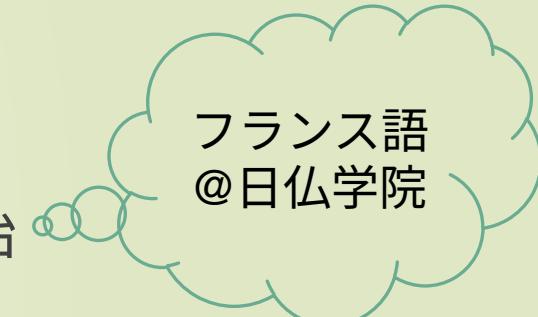
©永塚佳代子

Contents

1. 私のフラワーアレンジメント歴
2. フランス式フラワーアレンジメントとは？
3. パリスタイル（フランススタイル）の歴史
4. パリスタイル（フランススタイル）の基本
5. DAFAとは？
6. フロリスト作品
7. モナコ国際ブーケコンクールの歴史
8. 第47回モナコ国際ブーケコンクールへの参加
9. 第50回モナコ国際ブーケコンクールへの参加
10. 作品写真

1. 私のフラワーアレンジメント歴

- 2007年11月 フランス式フラワーアレンジメント受講開始
@エコールドブッケフランセ
- 2009年3月 DAFA 1er degré 取得
 - Marie Francoise Deprez先生 (International Floral Art Institute) 講習
 - 2009年6月 上級クラス終了→研究クラスへ
- 2011年10月 DAFA 2ème degré 取得
 - 2013年9月 Laurence Perez (Ecole Francaise D' art Floral) 先生講習
- 2014年 第47回モナコ国際ブーケコンクール参加
 - 2014年9月 Laurence Perez (Ecole Francaise D' art Floral) 先生講習
- 2017年 第50回モナコ国際ブーケコンクール・シャクナゲ部門にて銅賞
 - 2018年10月 Marie Francoise Deprez 先生講習
 - 2023年5月-2024年4月 パリのフローリスト10名のオンラインレッスン
「ベストフラワーアレンジメント」誌主催



フランス語
@日仏学院

2.フランス式フラワーアレンジメントとは？

- フラワーアレンジメントは、その発祥の国や独自の文化によって、表現の哲学や技法が大きく異なります。
- 「国や流派による主なスタイル」

1.ヨーロピアンスタイル（ドイツなど）

- 現代フラワーアレンジメントの基本となるスタイルの源流の一つです。装飾的・構成的な美しさを重視。幾何学的なアウトラインを花で埋めていくスタイルが基本

2.パリスタイル／フランススタイル

- 自然の美しさと洗練されたエスプリ（精神）が融合した、人気のあるスタイルです。ナチュラルでエレガント。グリーン（葉や枝）をたっぷり使い、花とグリーンが調和した自然な姿を再現します。ハーブや果物、野菜を取り入れることもあります。

3.イングリッシュスタイル（イギリス）

- 庭園文化が発達したイギリスならではの、自然美を重んじるスタイルです。「イングリッシュガーデン」の自然な美しさをアレンジメントに持ち込みます。自然の摂理や花の成長の姿を大切にします。

2. フランス式フラワーアレンジメントとは？

4. アメリカンスタイル（ウエスタンスタイル）

➤ 特にアレンジメントの歴史初期において、ヨーロピアンと対をなす存在。華やかでダイナミック。幾何学的なアウトラインを花で埋めるスタイルが多い

5. 和のスタイル（いけばな）

➤ 西洋のフラワーアレンジメントとは根本的な哲学が異なりますが、花の表現として対比されます。自然との対話、花材の持つ本来の美しさを引き出すことに注力。「引き算の美学」。**「間（ま）」**という空白の空間を重視。

3. パリスタイル（フランススタイル）の歴史

パリスタイルは、「自然の美しさをそのままに、洗練されたエレガンスを加える」というフランス独自の美意識を反映して発展。

1. 創成期（16世紀～18世紀）：装飾文化の発展

- 特徴: 宮廷文化（特にヴェルサイユ宮殿）が栄え、豪華で形式的な装飾が主流。
- 転換点: 18世紀後半のロココ時代には、より自然で軽やかなスタイルへの志向が見え始めます。

2. 確立期（20世紀中盤）：自然回帰とブーケの進化

- 背景: 第一次・第二次世界大戦後、生活様式が変化し、より日常に寄り添った花が求められるようになりました。
- 進化: ブーケ（花束）の文化が洗練され、花を螺旋状（スパイラル）に束ねるテクニックが重要視されるようになります。

3.パリスタイル（フランススタイル）の歴史

3. 現代（20世紀後半～）：トレンドセッターとしての地位

- **著名なフローリストの登場:** エルベ・デサンス、クリスチャン・トルチュなど、現代のパリスタイルを確立した影響力のあるフローリストが登場。
- **「シャンペトル（田園風）」の確立:** 庭から摘んできたような、**野性味**がありながら洗練されたデザインが流行し、パリスタイルの代名詞となります。
- ✓ **特徴:** 厳密な構成よりも、**花材の色や質感の組み合わせ**、**自然な動き**を重視する現在のスタイルが世界的に広まりました。
- パリスタイルは、フランスの豪華な装飾文化を基盤としつつ、時代とともに「いかに花を自然に、そして洗練された方法で日常に取り入れるか」という問い合わせを経て、現在の**エレガントでナチュラル**なスタイルが確立された。

4.パリスタイル（フランススタイル） 基本

□ クラシックスタイル

- ◆ 三角形（左右対称三角形、非対称三角形、葉のみ、葉と花）
- ◆ テーブル用長方形
- ◆ テーブル用ラウンド形
- ◆ L字型アレンジメント

□ モダンスタイル

- ◆ Vertical Oblique, Vertical Cascade, Vertical Horizontal
- ◆ その他

□ ブーケ

4.パリスタイル（フランススタイル）の基本 —各スタイル写真—



三角形



三角形（葉のみ）



三角形展示

4.パリスタイル（フランススタイル）の基本 —各スタイル写真—



長方形



ラウンド



モダン

5.DAFAとは？

- フランス農水省の後援のもと、**フランス国立園芸協会（SNHF）**が創設し、実施・認定を行っている、権威あるフラワーアレンジメントの技能資格です。
- **協会**：フランス国立園芸協会（SNHF） *Société Nationale d'Horticulture de France*
 - ◆ 1827年に設立された歴史ある組織で、フランスの園芸・植物学の知識普及、振興を担っています。
- **資格**：DAFA（Diplôme d'Animation Florale Artistique）
(1er, 2ème, 3ème degré の3レベルがある)
 - ◆ DAFA 3ème degré（3級）に合格すると、教授資格や公認デザイナーとして認められ、プロフェッショナルな指導者としての地位を得ることができます。

ランジス市場@パリ (Marché International de Rungis)



パリ郊外に位置する世界最大級の生鮮食品・花卉（かき）の卸売市場

7. モナコ国際ブーケコンクールの歴史

- モナコの伝統と、グレース・ケリー公妃から受け継がれた花の文化を象徴する、モナコ皇室とかかわりの深いイベントです。

★ 格式と歴史

- 正式名称: Concours International de Bouquets de Monaco
(モナコ国際ブーケコンクール)
- 歴史: 2017年には開催50回目を迎えるほど長く続いています。
- 主催: モナコ・ガーデンクラブ (Garden Club de Monaco)

👑 公室との関わり

- 設立: 1968年に、花と自然を愛した故グレース・ケリー公妃 (Grace Kelly) によって設立されました。
- 現主宰: 現在は、グレース公妃の長女であるカロリーヌ公主 (Princess Caroline of Hanover) が協会の代表となり、コンクールを主宰しています。

7. モナコ国際ブーケコンクールの歴史

- **特徴:** 華麗なモナコ公室が関わるコンクールであり、カロリーヌ公主自身が審査員として参加したり、参加者を囲んでの晩餐会が開催されたりするなど、**国際色豊かな社交の場**となっています。
- **開催時期:** 毎年、春（主に5月頃）に開催されることが多いです。
- **会場:** モンテカルロ地区にあるカジノ・モンテカルロのテラスなど、格式高い場所が会場となります。
- **参加者:** 世界中から100名以上が参加する、ブーケ（花束）を中心とした国際的なコンクールです。

8. 第47回モナコ国際ブーケコンクールへの参加

–2014年–

□ 小テーマ：

- 大型アレンジ、テーブルアレンジ、バラの色によるテーマ、他
- 会場：Chapiteau de Fontvieille

□ 制作日程

- 6/13 ニース市場にて花材購入し、モナコのホテルへ移動、その後準備
- 6/14 AM展示会場にて作品制作：赤いバラ（情熱）
PM審査後、表彰式とパーティー@エルミタージュホテル
- 6/15 一般公開

グレース公妃のバラ園（会場隣接）



コンクール会場 ー制作直後ー



バラ部門受賞作品 – 4点抜粹 –



19

表彰式とパーティー@エルミタージュホテル



9.第50回モナコ国際ブーケコンクールへの参加

－2017年－

- テーマ：rendre homage a la Princesse Grace
(グレース・ケリー公妃に敬意を表して)

- 小テーマ9種類：

- 大型アレンジ、ミニチュア壁掛け、誕生日（テーブルアレンジ）、
花（しゃくなげ）、他

- 会場：Chapiteau de Fontvieille

- 制作日程

- 6/9 ニース市場にて花材購入し、モナコのホテルへ移動、その後準備
 - 6/10 AM展示会場にて作品制作：花（しゃくなげ）
 - PM審査後、表彰式とガーデンパーティー
 - 6/11 一般公開

9.第50回モナコ国際ブーケコンクールへの参加 —受賞作品と表彰式写真—



記念オブジェ



シャクナゲ部門銅賞



カロリーヌ公女
より記念品授与

モナコ写真



モナコ宮殿前広場



モナコ港

23

10.作品写真

—毎月のレッスン—



24

10.作品写真 —毎月のレッスン—



25

10.作品写真 -2024年オンラインレッスン-



オード・アングラレ レッスン



パティスト・ピトウ レッスン



マリアンヌ・グウダンレッスン

26

10.作品写真

—毎月のレッスン—



27

10.作品写真 —クリスマスリース—

